

第2章 人口と世帯

1 人口及び1世帯当たり人員の推移 (表1、図1) 【統計編

令和元年10月1日現在の総人口は1,937,626人となり、前年と比べ11,814人減少した。

平成17年以降は減少傾向にあり、令和27年には1,552,950人になると推計されている。

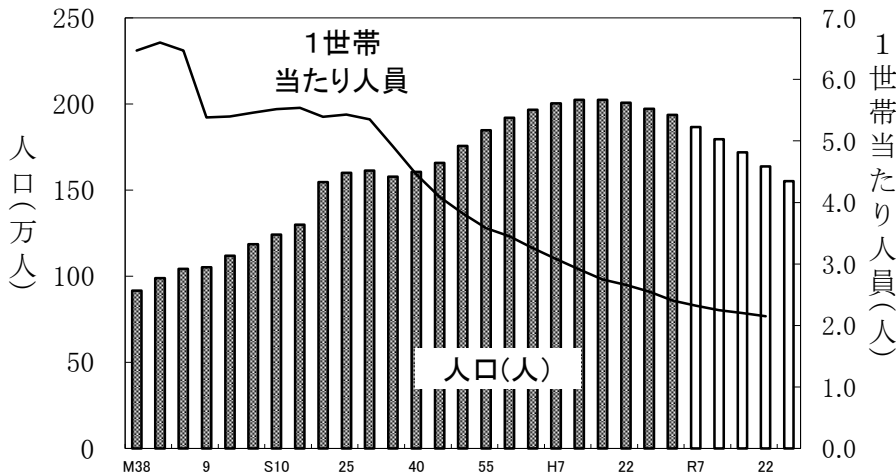
1世帯当たり人員は、核家族化の進行とともに急激に減少し、令和元年には2.40人となった。令和22年には2.15人まで減少すると推計されている。

1-第1表】

表1 人口・1世帯当たり人員の推移

	人口(人) 各年10月1日	1世帯 当たり 人員
明治38	915,740	6.47
大正4	1,042,279	6.47
14	1,118,858	5.40
昭和10	1,242,453	5.52
20	1,546,081	5.39
30	1,613,549	5.35
40	1,605,584	4.46
50	1,756,480	3.82
60	1,921,259	3.45
平成7	2,003,540	3.08
17	2,024,135	2.75
27	1,973,115	2.55
29	1,958,409	2.48
30	1,949,440	2.44
令和元	1,937,626	2.40
7	1,865,565	2.32
12	1,796,233	2.25
17	1,719,914	2.20
22	1,637,642	2.15
27	1,552,950	...

図1 人口・1世帯当たり人員の推移



【出典】令和元年まで：群馬県移動人口調査
令和7年以降：日本の地域別将来推計人口、日本の世帯数の将来推計
(国立社会保障・人口問題研究所)

2 年齢別人口割合の推移 (表2、図2) 【統計編 1-第2表、第3表】

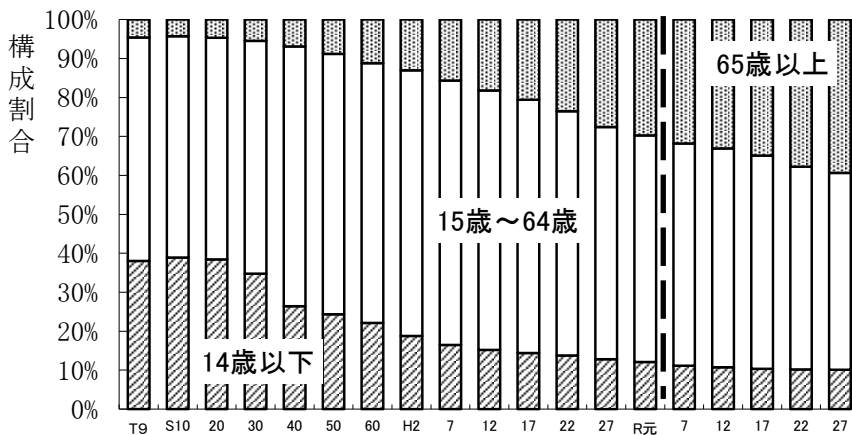
令和元年の14歳以下人口割合は12.0%、65歳以上人口割合は29.8%で、65歳以上の人口割合は年々増加している。

将来推計人口では、令和27年には65歳以上人口割合は約4割で、14歳以下人口の4倍近くになると推計されている。

表2 年齢別人口割合の推移

	群馬県		全国	
	14歳 以下	65歳 以上	14歳 以下	65歳 以上
大正9	38.1	4.6	36.5	5.3
昭和10	38.9	4.3	36.9	4.7
20	38.4	4.7	36.8	5.1
30	34.8	5.4	33.4	5.3
40	26.4	6.9	25.6	6.3
50	24.3	8.8	24.3	7.9
60	22.1	11.2	21.5	10.3
平成7	16.5	15.6	16.0	14.6
17	14.4	20.6	13.7	20.1
27	12.8	27.6	12.6	26.6
29	12.4	28.9	12.3	27.7
30	12.2	29.4	12.2	28.1
令和元	12.0	29.8	12.1	28.4
7	11.1	31.8	11.5	30.0
12	10.7	33.1	11.1	31.2
17	10.3	34.9	10.8	32.8
22	10.2	37.7	10.8	35.3
27	10.1	39.4	10.7	36.8

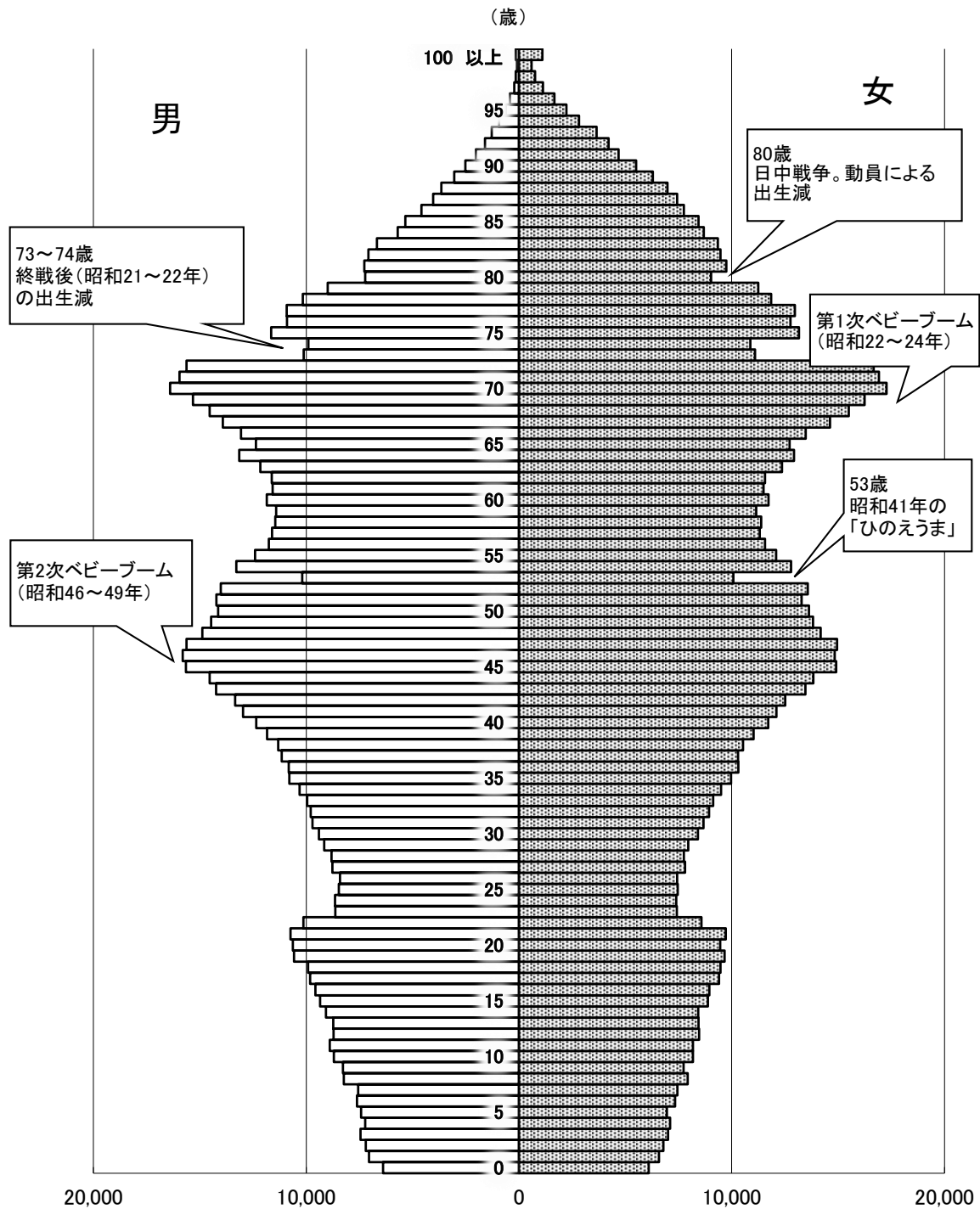
図2 年齢別人口割合の推移 (群馬県)



【出典】令和元年まで：群馬県年齢別人口調査
令和7年以降：日本の地域別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

3 人口ピラミッド (図3)

図3 人口ピラミッド (令和元年10月1日現在)



【出典】群馬県年齢別人口調査

(注) 年齢不詳(総数16,425人、男9,914人、女6,511人)は含まない。